

鳥取県立博物館美術部門テーマ展示Ⅱ

# 生誕百年 山本兼文展

平成30年11月23日〔金・祝〕 — 12月24日〔月・振休〕 休館日：12月10日〔月〕

鳥取県立博物館二階 第一特別展示室



〈入間〉石 当館蔵

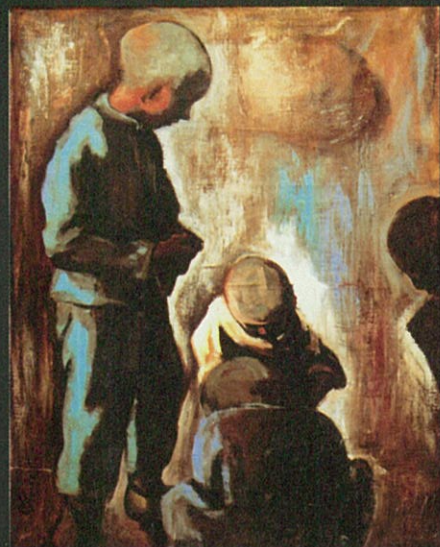
観覧料…一般 180円（20名様以上の団体 150円）

※同時開催の企画展「ミュージアムとの創造的対話02 空間／経験」をご観覧の方、大学生以下、70歳以上の方、学校教育活動での引率者、障がいのある方、難病患者の方、要介護者およびそれらの介護者の方は無料。



鳥取県立博物館  
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

Kanefumi Yamamoto: A Centennial



1940 (21歳)



1947 (28歳)

平成30年度 鳥取県立博物館美術部門テーマ展示Ⅱ

# 生誕百年 山本兼文展

## Kanefumi Yamamoto : A Centennial

ヤマモト・カネフミ 1918-1992

平成30(2018)年は、鳥取県を代表する彫刻家・山本兼文の生誕100年に当たる年です。岩美町出身の山本兼文は、鳥取師範学校を卒業後、教鞭を執る傍ら、昭和15年から3回続けて独立展(絵画部門)に入選するなど、最初は画家を目指していました。しかし、ちょうどその頃、日野郡二部(現伯耆町)出身の辻晉堂と出会い、その人柄と作品に強い感銘を受け、彫刻制作に向かいます。以降、日本美術院展(院展)への発表を続け、昭和28年には同展にて佳作、昭和33年には奨励賞を受賞し、彫刻家として認められることとなります。その作品は、木やセメント、石などを素材とし、動物や肖像などの小品から、抽象表現へと展開していきます。院展の彫刻部門が解散後は、二紀展での発表を精力的に続け、昭和52年の同展出品作「石会」(=画⑥)では、文部大臣賞を受賞しました。

このたびの展覧会では、当館と鳥取県内個人が所蔵する彫刻作品を中心に、初期から晩年までの多様な作品を展示します。また、主に県東部エリアに設置されている野外彫刻をパネルにて紹介し、山本兼文の制作活動を回顧します。

1954(35歳)



④

1962(43歳)



③

1974 (55歳)



⑤

1977(58歳)



⑥

1991(72歳)



⑦

### 主な野外彫刻作品および設置場所

《駅前シンボル》鳥取駅前、《城の人》久松公園前、《いろはにほ》鳥取市文化センター、《あすなろ兄妹》鳥取県福祉相談センター、《人間》白兔会館、《慰霊塔》岩美町陸上、《母子観音像》浜村公園、岩美町愛宕山展望台のデザイン、鳥取西高等学校、鳥取商業高等学校、八頭高等学校、鳥取盲学校、遷喬小学校、佐治小学校、照来小学校、若桜橋のモニュメント他

### ■スペシャルギャラリートークのご案内

作品を鑑賞しながら、山本兼文氏にまつわる様々なエピソードをお聞きます。

講師：石谷 孝二氏(彫刻家、鳥取大学名誉教授)

日時：平成30年11月24日(土) 午後14時～15時

会場：第一特別展示室

対象：高校生～一般 ※事前の申込みは不要、観覧料が必要となります。

- ①《友》カンヴァス・油彩、当館蔵
- ②《ニトリ》木、個人蔵
- ③《トルソ》木、当館蔵
- ④《戒五》セメント・鉄、当館蔵
- ⑤《阿保だら》石(台座：木)、個人蔵
- ⑥《石会》石、当館蔵
- ⑦《作品(未完、絶作)》土、個人蔵



### ◎JR鳥取駅から

- ▶バスで
  - ◎100円バスぐる梨(緑コース)で「⑩仁風閣・県立博物館」下車すぐ
  - ◎ループ麒麟獅子「③鳥取城跡」下車すぐ
  - ◎砂丘、湖山、賀露方面行「西町」下車約400m
  - ◎市内回り岩倉、中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
- ▶タクシーで 約10分

### ◎鳥取空港から ▶鳥取駅行空港連絡バスで「西町」下車約400m

- ◎お車で ▶鳥取自動車道・鳥取ICより約15分
- ※当館駐車場 21台駐車可能(なるべく公共交通機関をご利用ください)

**鳥取県立博物館**  
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2丁目124  
[Tel]0857-26-8042 [Fax]0857-26-8041